

【平成 27 年 7 月 23 日（木）】

サマースクール二日目は 3・4 年生、昨日よりさらに元気がいい。さて先日のパタスザルが見ていたのは 30m ほど先のアビシニアコロブスのところだと思う。そこでは真っ白な赤ちゃんが母親の胸に抱かれていた。7 月 10 日生まれだが、胸もとから顔がはっきり見えるようになってきた。

バードホールのガジュマルがシャワーに打たれて傾いたので、これを機会に枝を整理したところかなり開けて見えやすくなった。そのせいというわけではないが、ナマケモノがよく見えた。顔まで鮮明に写真がとれたのは初めて。こんな顔です。

2 時半ころ、椿事がおきた。カモの雛がレストランに迷い込んだとの報告。雛だけ！カルガモか？ちょうど私は電話中。そこにいた獣医さんが駆けつけ、近くにいた親を見つけて、引き渡した(?)とのこと、雛は 8 羽。食堂にいた皆さんはさぞびっくりしただろう。あまり聞いたことがない。私が駆けつけた時には解決済み。写真は撮れませんでした。



【平成 27 年 7 月 22 日（水）】

今日から夏休み恒例のサマースクール開始。初日は 1・2 年生、すごく元気がよい。昼の食事時間には大騒ぎであった。子どもたちはすぐ仲がよくなる。3 時には修了式などすべて完了。小さな怪我もなく一安心。

トナカイのところに行くとオスのルイが袋角を材木にこすりつけていた。トナカイは毎年角が生え変わるが、この時期、角を覆う袋が剥げてくる。その内、自分の後ろ足ではぎとっていた。ところでトナカイはシカの仲間でもスにも角がある。しかしメスのコマチには角がない。どうやら袋角がむけてすぐに落角したらしい。コマチは 12 歳、ちょっと高齢なので角の生え変わりパターンがずれてしまったのであろうか。キリンのところではオスのヨウタが芝生に顎を載せて一休み、どういう意味があるのかはわからない。



【平成 27 年 7 月 19 日（日）】

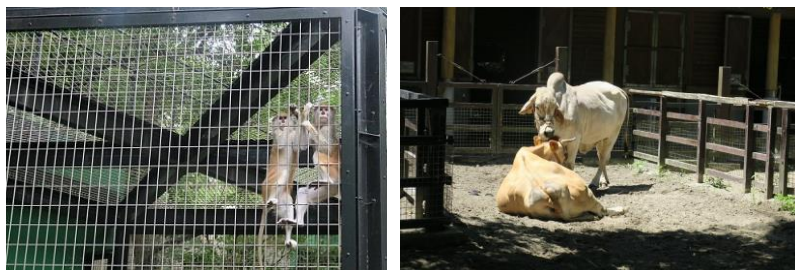
昨日夕方、レッサーパンダのチイチイが元気消失と報告を受けて心配していたが夜 7 時頃動かなくなった。風太の連れ合いで 8 頭の子どもがいる。長寿だったので大往生であろうが、残念。朝からみんなであれこれ対応を検討した。それから写真コンクールの表彰式に
いって、その足で入口の坂道による。今日は北門からの坂道に動物の足跡を描いてもらう
ことになっている。ライオンとゾウとキリン。1 2 時半ころには完成した。西口と正門の
坂道にも描くのだが、長雨で少し遅れている。しばらくお待ちください。
オランウータン前では、オスのフトシとしばらくお見合いをすることができた。



【平成 27 年 7 月 18 日（土）】

暑さが続きますね。近くの県営野球場からは甲子園予選の応援が聞こえてきます。風向き
によって音の大きさが変わるのがよくわかるのが面白い。夏本番といったところですかね。
それでもフクロテナガザルはめげることなく大声で吠えている。テナガザルが吠えたとお
客さんは集まってきて、この場所はいつもにぎわい。サル比較舎に回ってみるとパタスザ
ルのメス 2 頭がネットの上のほうに登って左のほうをしきりに気にしている。パタスザ
ルは典型的な地上性のサルであり上のほうにはいかないが、何か見えるらしい。さて何が
起きているのか。答えは 23 日頃に。ライオンの工事が近づいたので、工事予定地にいる白

牛を子ども動物園に移動させてジャージー種と同居させたが、うまく折り合っているのか気になって見に行くと、白牛がジャージーの頭を舐めていた。なんだこれは。ウシは唾液がたくさん出るのでベタベタになりはしないか、気持ち悪くないかなど心配してしまったが、ジャージーのほうは全然気にしていないようだ。



【平成 27 年 7 月 15 日（水）】

今日もヘビクイワシのオスはメスを鋭く追尾、メスは羽を広げて逃げ回っていた。何度か同じ行動をするが、オスは捕まえることができない。

フクロテナガザルのところは、お客さんがいないこともあって今日は静か、いつもは騒ぐメスのハートは池の落ち葉を取り上げてむしゃむしゃ、オスはよくやるのを見かける行動だが、メスではあまり見ない。動き回っていることが多いからかしら。結構味わっているようにも見える。



【平成 27 年 7 月 14 日（火）】

このところ暑さが続いている。オジロワシはいつもいる樹木の頂上付近から下に降りてきてすぐそば。風が強いせいもあるのか。シマウマのライムが鼻を広げてフレーメンというメスの匂いを嗅ぐ行動をしていたので、写真を撮ろうと近くによったらやめてしまった。残念でした。カモ類もみんな日陰に集まって避暑スタイル。



【平成 27 年 7 月 11 日（土）】

障害者施設の青年たちが花壇を完成、小さいながら頑張ってくれた。これからいくつか増えていくそうである。レッサーパンダのメイタはちょうどこちらに顔を向けてお昼寝でした。なかなか美男子である。



【平成 27 年 7 月 9 日（木）】

西口の坂道に動物の足跡を描こうとボランティアさんたちと泥を除去に出かける。これがなかなかの難物であった。結局、午前中かかって泥を除いたが、足跡を書くまでには至らず。暑いので熱中症に注意でした。夕方にかけてヘビクイワシのオスはしつこくメスを追尾していた。昨日までの雨はどこかに行ってしまった。



【平成27年7月7日（火）】

やはり雨になってしまった。静かな一日になります。午前中、打ち合わせ。昼食を食べてゾウ舎の近くに行くとシマウマの大きな声、何かとそちらに向かったら、途中でミーアキャットのメス・ミルミルが立ち上がってシマウマのほうを見ている。何事が起きたのかといった感じ。でも隣では、オスのカン太とメスのアイデアがじゃれあって全く気にしてない様子。この2頭、仲が良いのだがなかなか子どもが生まれない。

フラミンゴのケージでは塚状の土盛りが4つできている。巣作りである。なんとお客さんのすぐ前である。フラミンゴの巣作りは、お客さんから離れたところが多いのに。そのうち2つは普通の塚で回りも固めてあり、2羽が座っている。卵を抱いているのかな。もう一つは舗石の上に土盛りしてあって、回りも固めてない。あまり見たことのない姿で少しだらしがない。もう一つでは1羽が塚作りの最中で嘴の脇で固めていた。さて大丈夫だろうか。

ハシビロコウは今日もクラッタリング、お互いに柵越えに相手を見つめている。何度か同居させているのだが、なかなか接近しない。しばらく見合っていたが、オスのじつとはふいと横を向いてしまった。



【平成27年7月5日（日）】

今日も雨がそぼ降ってます。草原ではハゴロモヅルが1羽、小高い丘の頂点にいて、あたりを睥睨。とその時、ツルの一声、ツルは草原の王様か。静かな一日ですね。少しいいカメラを買ったので、暗いところでも写せるかもと期待しつつ科学館へ。ナマケモノは見つからず、マーモセットとタマリン各種を眺めていたら変なことに気が付いた。動物舎内に木の枝を組んで移り歩けるようにしてあるのだが、木の皮が剥かれていて、マーモセットとタマリンでは、剥され方が少し違うようだ。マーモセットのほうが丸裸になっている枝が多いような気がする。両者の食性の違いかしら、それともほかの要因か。ヒロハシサギ

のケージではオスがメスの背中に乗りっぱなし、交尾ではないので、何の意味があるのだろうか

【平成27年7月4日（土）】

このところ雨天、曇天続きで、園内は静かである。大きな声を出しているのは、いつもの様にフクロテナガザル。メスのハートが騒いで動き回り、オスのブレイブは適当にというパターンだが、今日はハートが騒いでブレイブにちょっかいをだして、ブレイブはいつもと違うギャという声を出した。

すると隣のワオキツネザルは、驚いたようにテナガザルを見て、同調するように大声を發した。この姿はあまり見たことはない。カメラをむけたらもう普通の状態に戻って、尻尾の付け根を舐め始めた。

毎月第一土曜日は、ボランティアグループが、クイズラリーを実施している。今日は科学館で展示されている動物がテーマ、5つのクイズの答えて全問正解だとして褒美がもらえる。クイズの一つに、「コウモリはどうやっておしっこをするのか？」というのがあった。コウモリはこぞんじのとおり何かにつかまってぶら下がっているのだが、おしっこ、うんこをするときは、起き上がって普通にするのが正解。

